

原告側専門家証人の6人



池田修一 信州大学名誉教授

横田俊平 横浜市立大学名誉教授



高橋幸利 静岡神経てんかんセンター名誉院長

高嶋博 鹿児島大学医学部脳神経内科教授



鳥越俊彦 札幌医科大学病理第一講座教授

椿広計 統計数理研究所名誉教授・所長



被告側証人のうち 金銭授受が法廷で明らかになったのは

三木健司(大阪行岡医療大学・整形外科)

MSDから

訴訟関連連業務委託費

合計2300万円以上

本郷道夫(東北大名誉教授・総合診療科)

MSDから

訴訟関連業務委託費

合計1200万円以上

うち600万は透明性ガイドラインでも非開示

専門家証人4人の診察体験

池田修一 信州大学 名誉教授

神経難病等の専門家、厚労省副反応治療研究班班長

200名を診察 87名をHPVワクチン副反応と診断

横田俊平 横浜市立大学 名誉教授

小児リウマチ、膠原病、若年性線維筋痛症等の専門家
小児科学会会長も。

約150名を診察

高橋幸利 静岡神経てんかんセンター 名誉院長

小児の難治性てんかん、神経難病等の専門家

60～70名を診察

高嶋博 鹿児島大学 教授

自己免疫性脳炎・脳症等の専門家

65名を診察

鳥越俊彦 札幌医科大学 教授

椿広計 統計数理研究所 所長・名誉教授

臨床家でこそその裁判での証言

- 共通の特徴的な病態
多様な症状、重層化、時とともに変化
既知の疾患では説明しつくせない
- 自己免疫性の神経障害
自己抗体の検出など客観的所見
免疫治療で改善がみられる
※ 心因性(なまけ病・気のせい)ではない
- 接種状況と患者発生の時間的相関がある

多様な症状が重層化し、変化する

感覚系障害

頭痛，四肢・全身の疼痛，光過敏，音過敏，嗅覚障害，激しい生理痛等

運動系障害

不随意運動，脱力，筋力低下，けいれん，歩行障害等

認知・情動系障害

倦怠感，集中力低下，学習障害，記憶障害，相貌認知障害等

自律神経・内分泌系障害

発熱，月経異常，過呼吸，睡眠障害，ナルコレプシー，発汗過多等

既知の疾患では説明できない

➤池田修一名誉教授

CRPS＋POTS＋高次脳機能障害
「子宮頸がんワクチン接種後症候群」

➤横田俊平名誉教授

線維筋痛症を疑ったが違うと結論
「HPV ワクチン関連神経免疫異常症候群：HANS」

➤高橋幸利名誉院長

「わたしが知る限り同じような患者群はいない」

➤高嶋博教授

自己免疫脳症のびまん性脳障害の特徴がある
末梢神経障害の併存、年齢層が特殊

自己免疫性の神経障害 (その証拠は)

➤ 自己抗体検査

自律神経や認知機能の働きを阻害する自己が有意に増加

高橋名誉教授. NMDA型グルタミン酸受容体抗体 (脳脊髄液)

池田名誉教授・高嶋教授 $\alpha 1$ アドレナリン受容体抗体等 (血清)

➤ SPECT検査

大脳辺縁系、脳幹部、視床下部等の血流が有意に低下

池田名誉教授・高嶋教授・高橋名誉教授

➤ 免疫治療

免疫抑制剤・血漿交換療法で一定の効果

免疫学者(鳥越俊彦教授)の証言

日本がん免疫学会理事長

- 病態の特徴と検査所見は自己免疫疾患を示す
- ワクチンが自己免疫疾患を引き起こすことは既知
(例えば、ギランバレー症候群・ADEM)

- HPVワクチンの成分から免疫学的に説明可能



HPVワクチンが原因と考えるのが合理的

危険なHPVワクチンの成分

➤ 免疫を過剰に活性化

抗原であるL1-VLPに強い免疫原性あり(実験論文)
アジュバントでさらに増強

サーバリックス : AS04 自然感染の10.5～27倍

ガーダシル : AAHS アジュバントなしの100倍

➤ 分子相同性

L1-VLPとヒトのアミノ酸配列の部分一致多数



「免疫寛容」の破綻(自己免疫)

統計学者(椿広計名誉教授)の証言

応用統計学の第一人者

臨床試験の統計解析ガイドライン原案作成に参画

中央薬事審議会委員、薬事・食品衛生審議会委員

➤「有意差なし＝因果関係なし」とするのは「統計の誤用」

(「差がある」ことの証明ができない、だけで
「差がない」ことの証明にはならない)

➤国内外の調査は危険性のシグナルを示している